

江別市 自治基本条例検討委員会  
～第3回委員会資料～

【自治基本条例アンケート クロス集計結果】

令和2年10月2日（金）

市民公募委員 瀬尾 洋介  
吉原 七海

## 1. 男女別クロス集計から分かる特徴

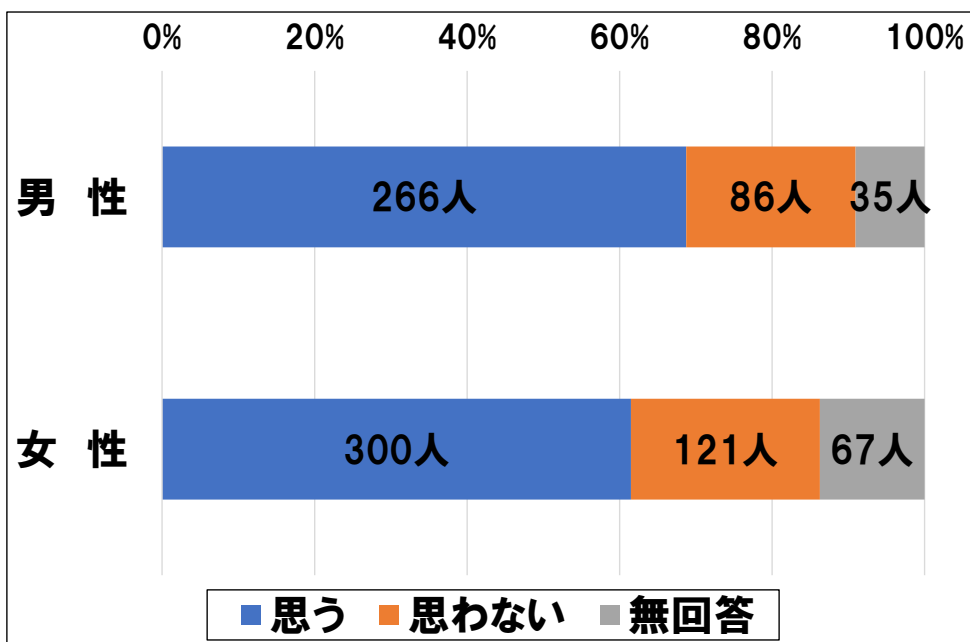
### (1) 全体概要

- ・ 全設問を通じて、男女別に大きな意識の違いはなく、おおむね男性・女性ともに同じような回答傾向にある
- ・ しかしながら、自治基本条例リーフレットの親しみやすさ（問6）、まちづくりに関する情報収集（問8）、市民参加条例の認知度や情報収集手段（問10・問11）、協働のまちづくりに対する評価（問19）、情報公開制度の認知度（問29）において、少し意識や評価の違いが見受けられる
- ・ なお、すべての選択式設問に対する「男女別クロス集計」の一覧表は、参考資料として別紙に掲載した

### (2) 個別設問の特徴

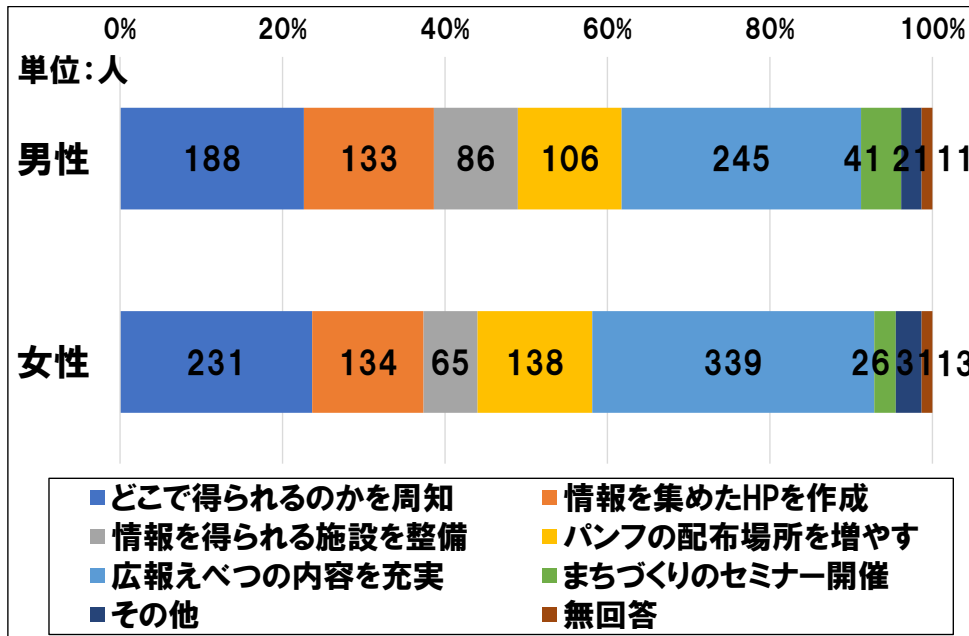
問6 自治基本条例のリーフレットは、分かりやすく親しみやすいと思いますか。

- ・ 男女ともに、自治基本条例のリーフレットに対する評価が高い
- ・ 女性よりも**男性の方が「分かりやすく親しみやすい」と**感じている割合が多い



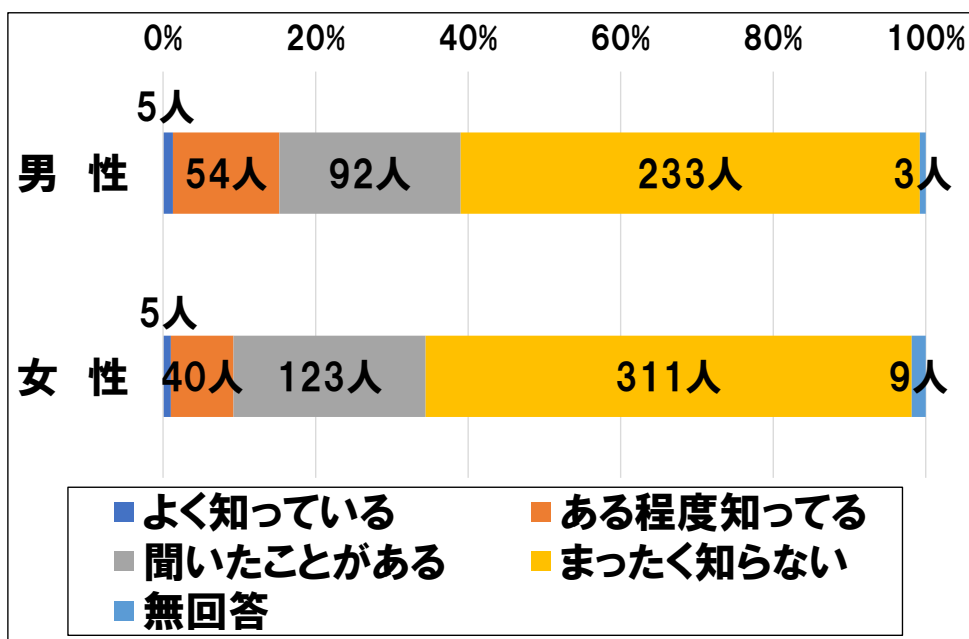
問8 江別市や自治会、活動団体などが行っている、まちづくりに関する情報を得やすくするために何が重要だと思いますか（3つまで選んでください）。

- ・ 女性と比べて男性は「情報を得られる施設を整備」が多い
- ・ 男性よりも女性は「広報えべつの内容を充実」が多い



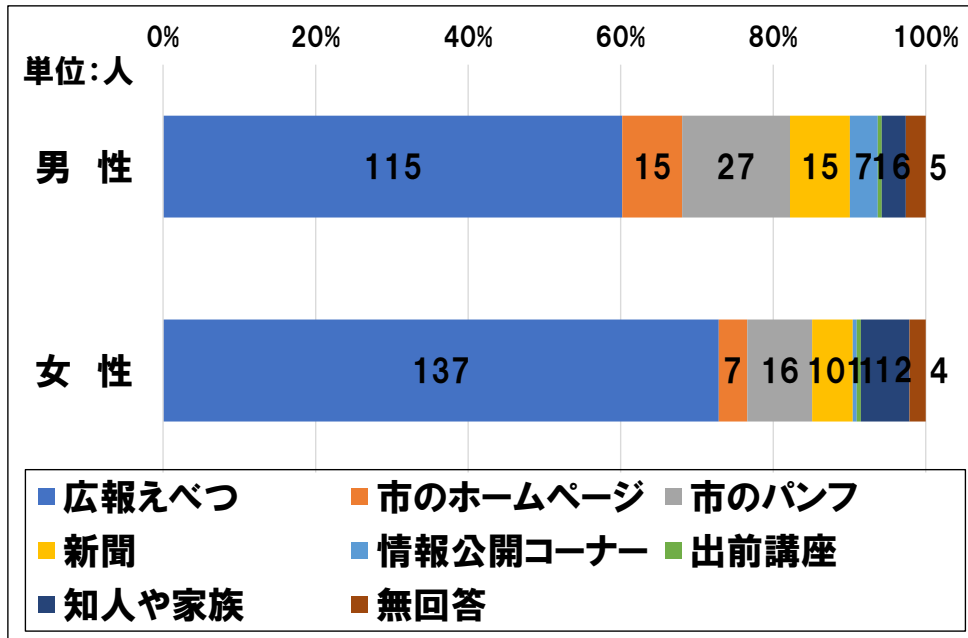
問10 平成27年10月に施行された「江別市市民参加条例」を知っていますか。

- ・ 男女ともに、「よく知っている」と回答した割合は非常に少ないが、女性よりも男性の方が「ある程度知ってる」の割合が多い



問11 問10で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。

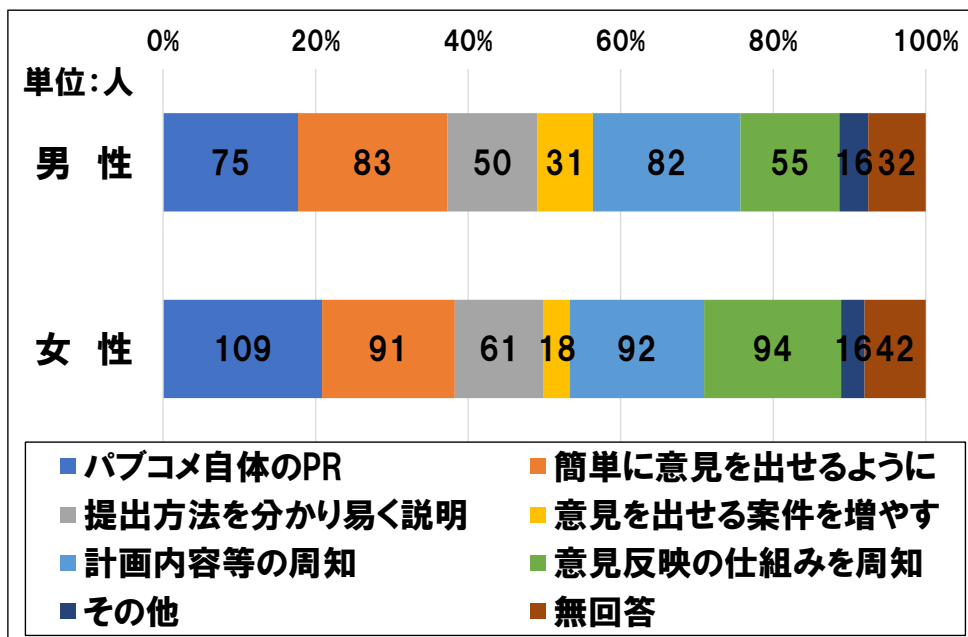
・ 男性よりも女性は、市民参加条例を「広報えべつ」で知った割合が多い



問15 市民参加の方法について、多くの市民に参加してもらうためには、何が必要だと思いますか。

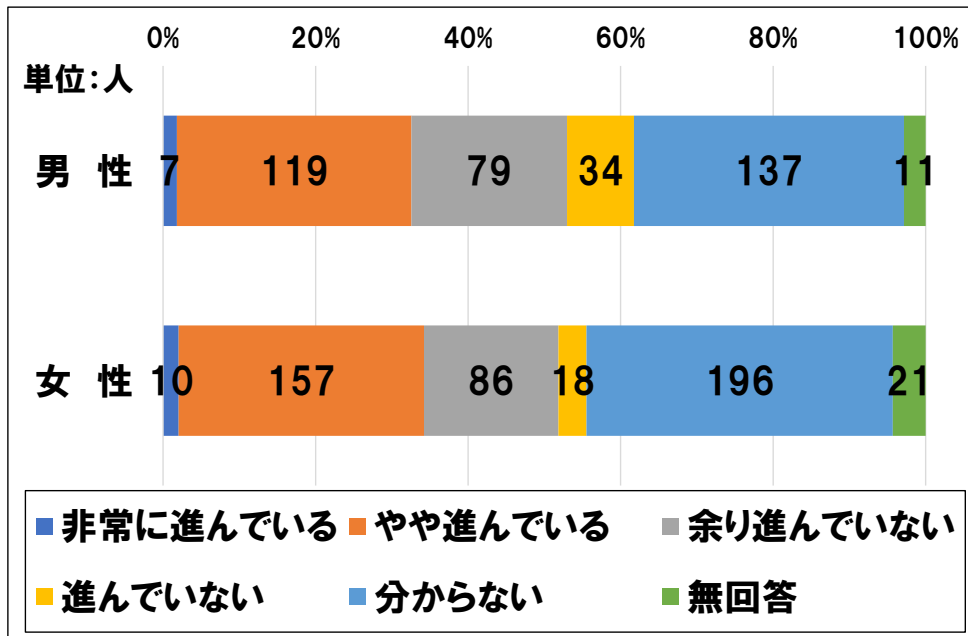
(2) パブリックコメント

・ 女性よりも男性は「簡単に意見を出せるように」「意見を出せる案件を増やす」が多い  
 ・ 男性よりも女性は「パブコメ自体のPR」「意見反映の仕組みを周知」が多い



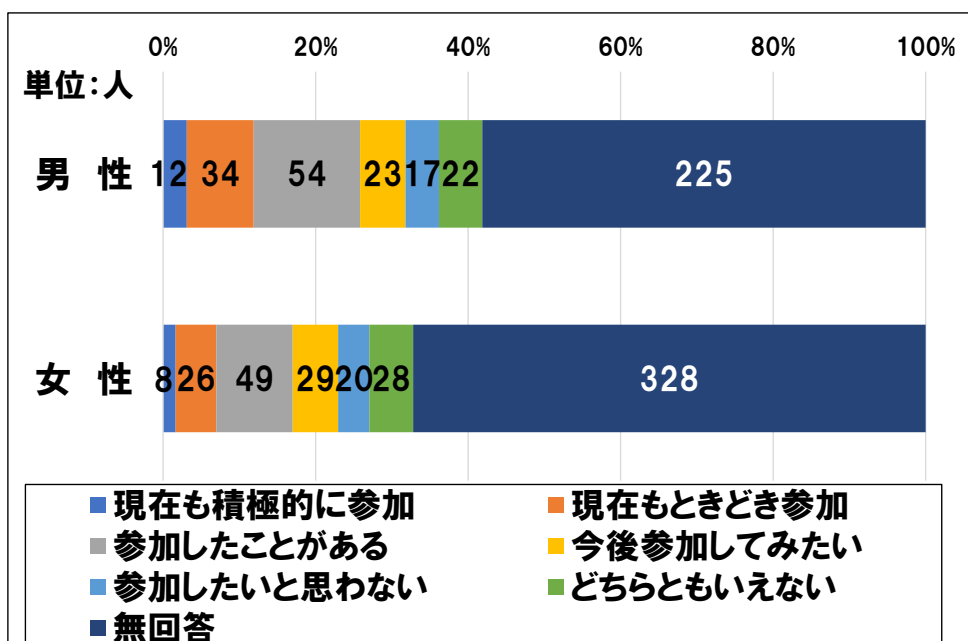
問19 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。

- ・ 女性よりも男性は、協働によるまちづくりが「進んでいない」との回答が多い
- ・ 男性よりも女性は「分からない」の回答が多く、あまり情報が伝わっていない



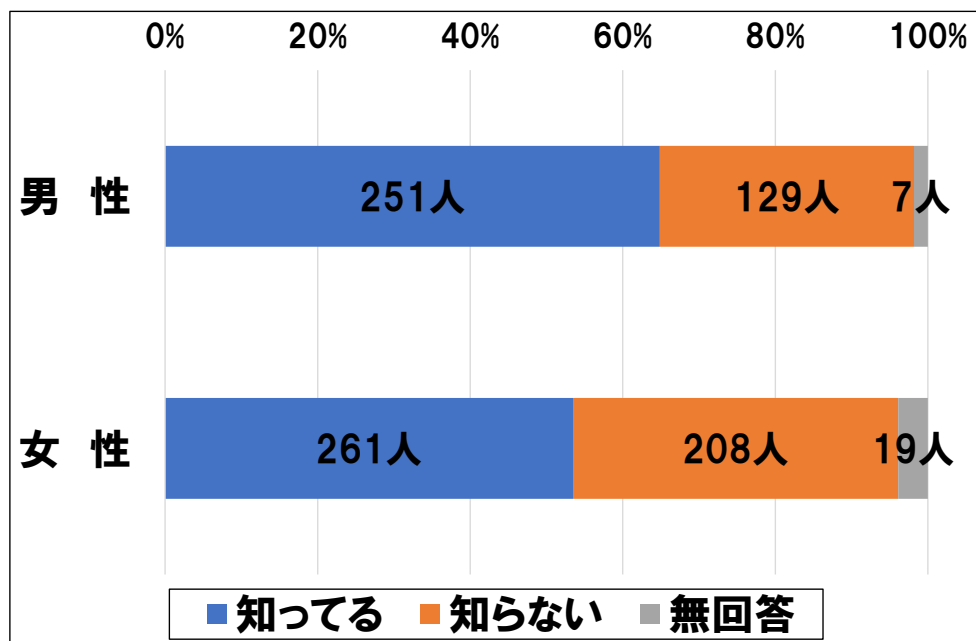
問21 自治会や市民活動団体、ボランティアなどで、まちづくり活動に参加したことがありますか。

- ・ 女性よりも男性は「まちづくり活動に参加した経験」が多い
- ・ また、本設問（問21）は、男女ともに「無回答」が目立ち、特に女性が顕著である



問29 情報公開制度があることを知っていますか。

・ 女性よりも男性は、情報公開制度を「知っている」割合が多い



## 2. 年代別クロス集計から分かる特徴

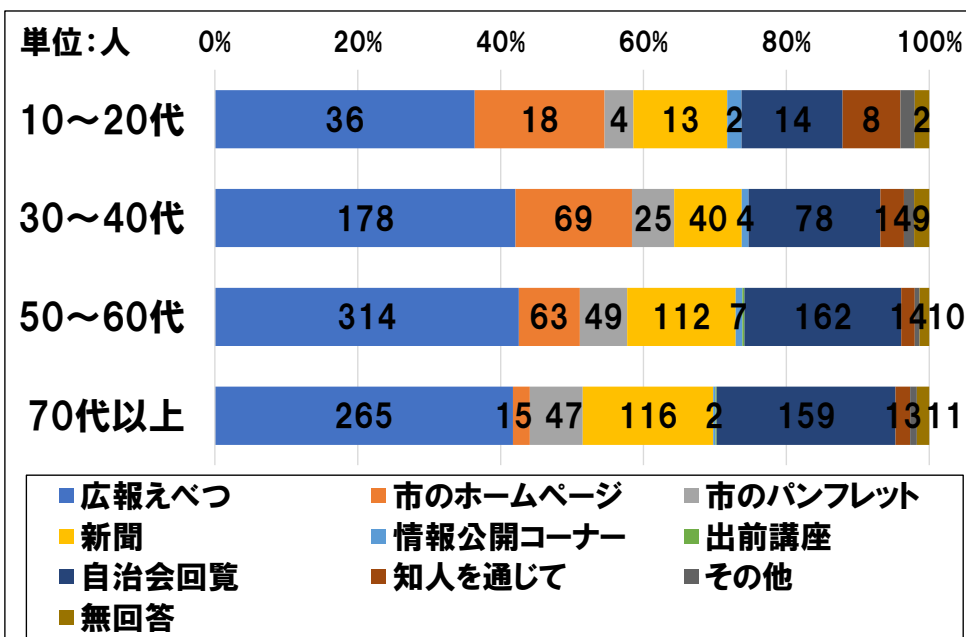
### (1) 全体概要

- ・ 全設問を通じて、「10～20代」と「70代以上」のように、年代別の意識の違いがハッキリ表れている設問が、いくつか見受けられる
- ・ たとえば、江別市からの情報入手（問7）、まちづくりに関する情報収集（問8）、市民参加条例の認知度や情報収集手段（問10・問11）、市民参加の推進方法（問14・問15）、まちづくり活動への参加（問21・問22）、防災面での自治会との連携（問27）などである
- ・ なお、すべての選択式設問に対する「年代別クロス集計」の一覧表は、男女別クロス集計と同様に、参考資料として別紙に掲載した

### (2) 個別設問の特徴

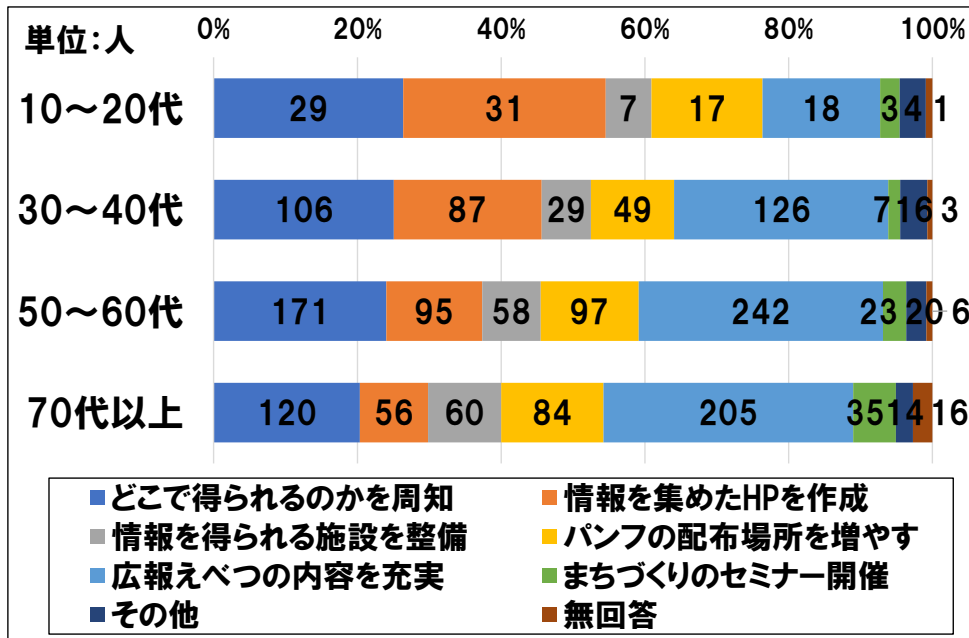
問7 江別市からのお知らせは、主にどのようなものを利用して入手していますか。（特に利用しているものを3つまで選んでください）。

- ・ 30代以上では「**広報えべつ**」や「**自治会回覧**」の割合が多く、50代以上になると「**新聞**」の利用も増加する。一方、10～20代や30～40代では「**ホームページ**」の利用が多いが、70代以上には、ほとんど利用されていない
- ・ **すべての年代で広報えべつ、自治会回覧、新聞、ホームページ以外の利用が少ない**



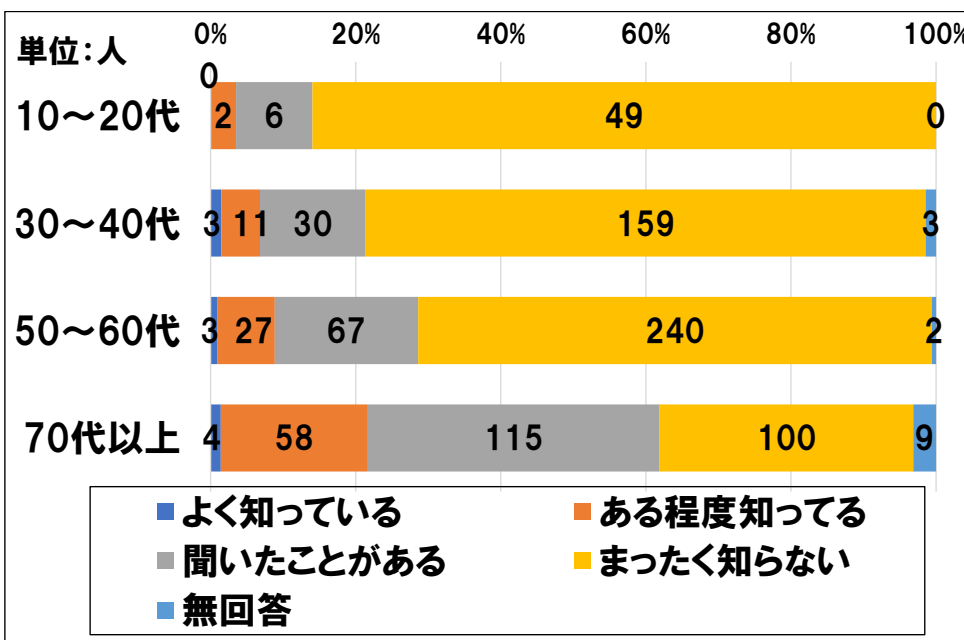
問8 江別市や自治会、活動団体などが行っている、まちづくりに関する情報を得やすくするために何が重要だと思いますか（3つまで選んでください）。

- 50～60代、及び70代以上の中高年は「広報えべつの内容を充実」が多く、10～20代の若年層では「情報を集めたHPを作成」が多いなど、年代によって意識が異なる



問10 平成27年10月に施行された「江別市市民参加条例」を知っていますか。

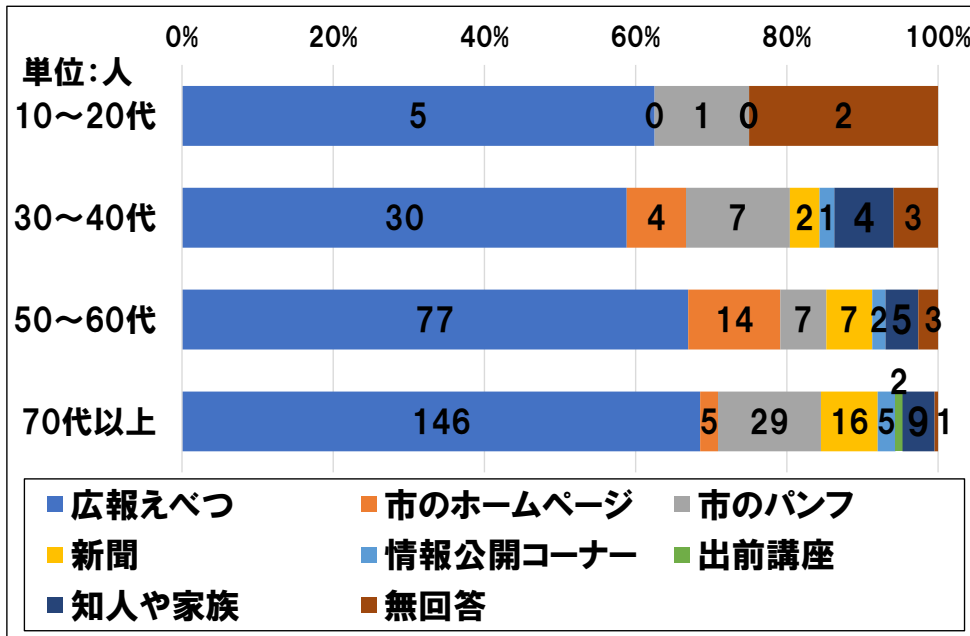
- 60代以下では「まったく知らない」が多く、特に10～20代の若年層で顕著である
- 70代以上の高齢者は「ある程度知っている」と「聞いたことがある」で全体の50%





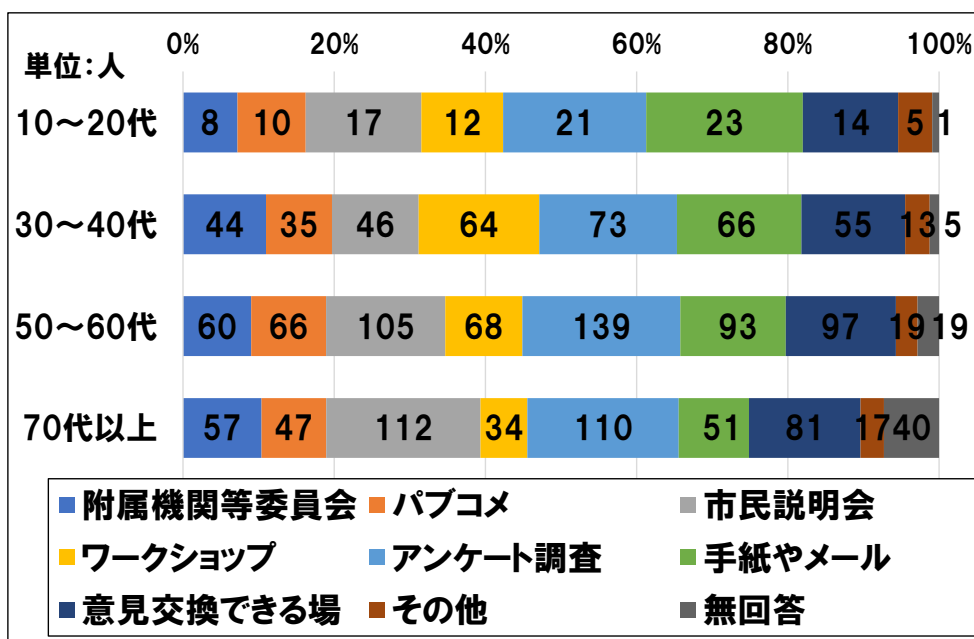
問11 問10で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。

- ・ 市民参加条例を知っている市民は、**全年代を通じて「広報えべつ」**による効果が高い
- ・ 50～60代は「**市のホームページ**」を含めて、**多様な手段で情報を入手している**



問14 市民参加を推進するためには何が有効だと思いますか（3つまで選んでください）。

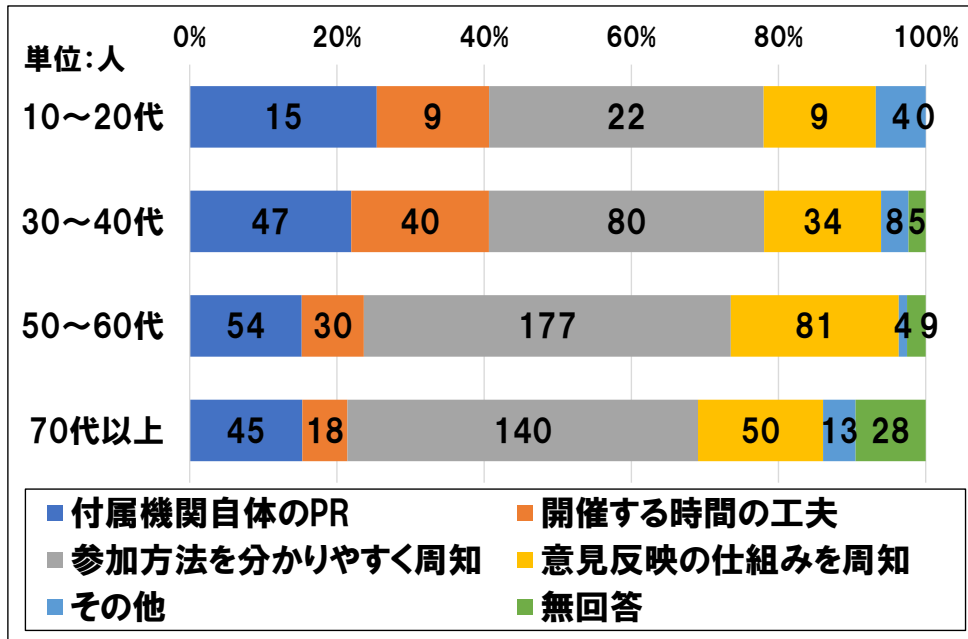
- ・ 全年代を通じて、回答結果にバラツキが大きく、一概に何が有効かを断定できないが、50代以上では「**市民説明会**」が、30～40代では「**ワークショップ**」がやや多い



問15 市民参加の方法について、多くの市民に参加してもらうためには、何が重要だと思いますか。

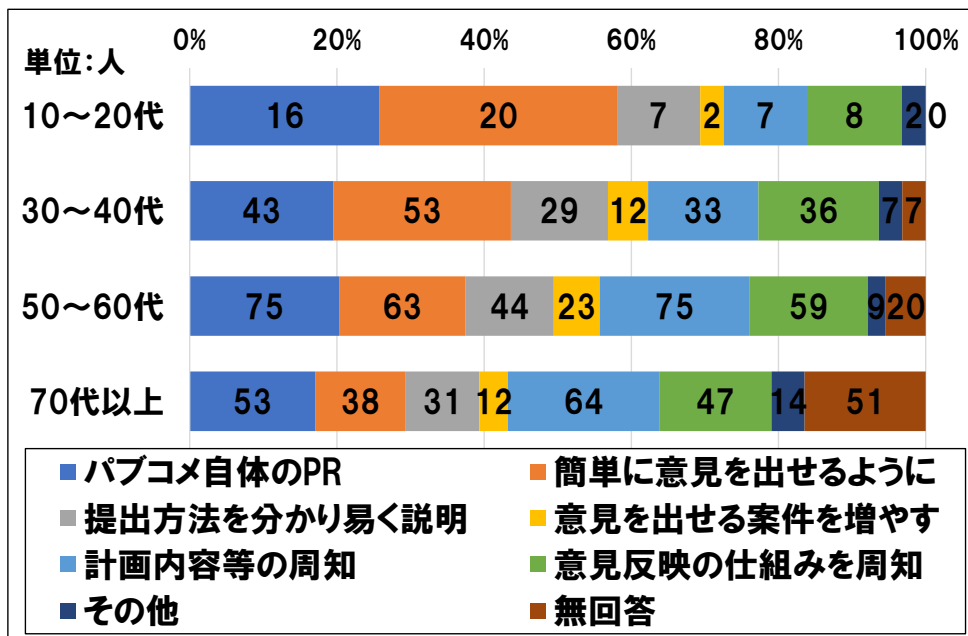
(1) 附属機関等

- ・ 40代以下では、「附属機関自体のPR」「開催する時間の工夫」が多い
- ・ 50代以上では、「参加方法を分かりやすく周知」「意見反映の仕組みを周知」が多い



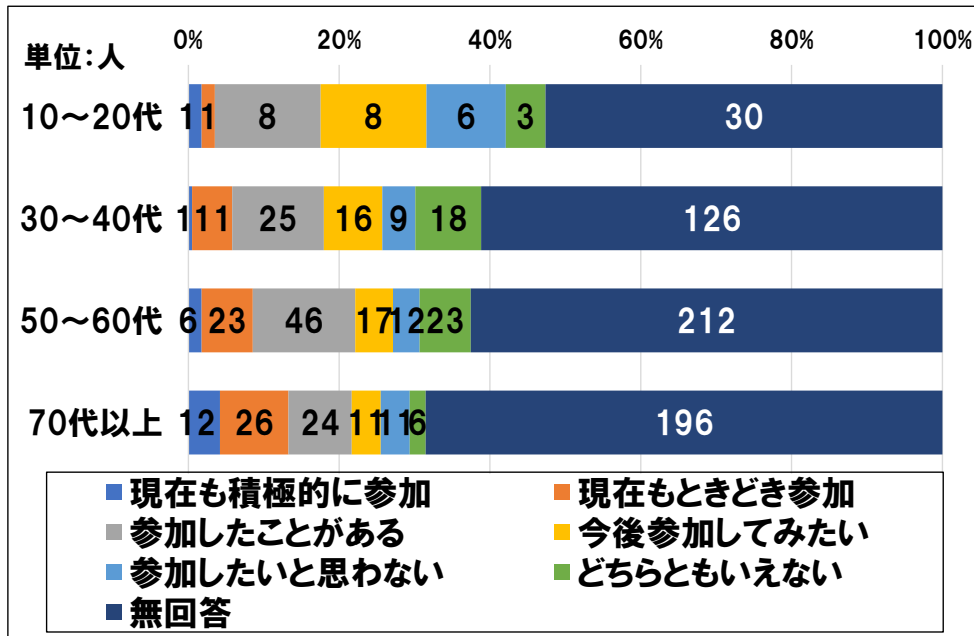
(2) パブリックコメント

- ・ 年齢が下がると「パブコメ自体のPR」「簡単に意見を出せるように」が増加する
- ・ 年齢が上がると「計画内容等の周知」が増加し、70代以上は他の年代より無回答が多い



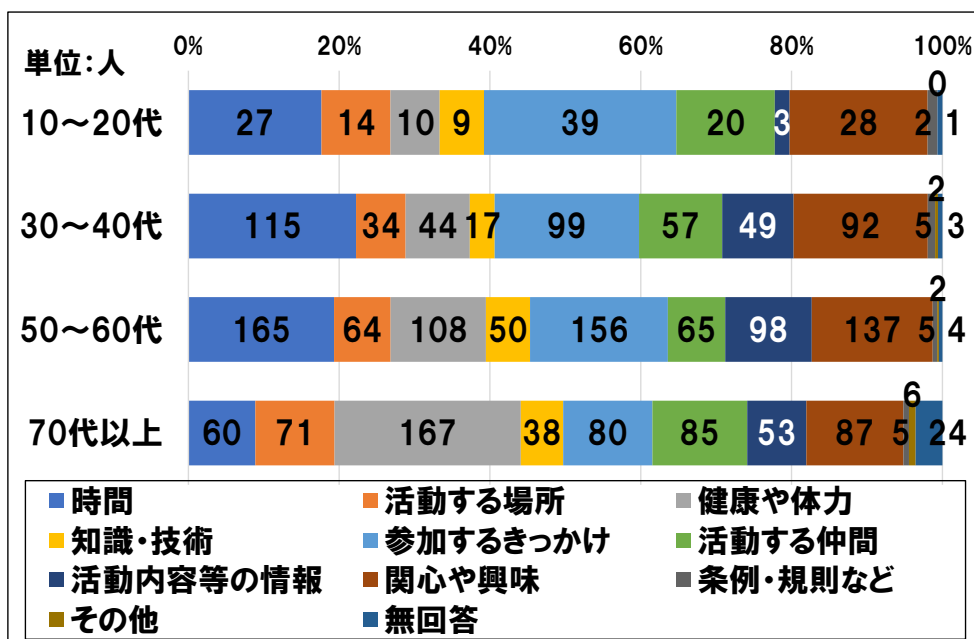
問 2 1 自治会や市民活動団体、ボランティアなどで、まちづくり活動に参加したことがありますか。

・ すべての年代で「無回答」が目立ち、特に70代以上では過半数を占めている



問 2 2 まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか（3つまで選んでください）。

・ 年代別の回答傾向がハッキリ表れており、全体的には年代が高くなるほど「健康や体力が必要」が必要だとする割合が増加する  
 ・ また、20～50代の働いている年代（現役世代）では「時間が必要」の割合が多い



問27 市民の防災・減災意識の向上や災害弱者への支援について、自治会等との連携が図られていると思いますか。

・ 年代が上がるにつれて、「**思わない**」が増加する傾向にあり、特に、**50～60代からの評価が低い**

